



# 新堀小だより

6月号

令和4年5月31日発行

元気いっぱい 夢いっぱい みんなが輝く新堀小学校  
新堀小3つの約束「心のこもったあいさつ 時を守る みんな仲よく」

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>



## 『We look to the future now!』

校長 若林 寿

清々しい初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってまいりました。子供たちは、元気に外遊びを楽しんでいます。今後は、暑さも厳しくなっていくことが予想されます。熱中症対策をしっかりと講じていきたいと思えます。また、先週お知らせしたとおり、運動時や登下校時等について、マスクは不要となります。感染防止に留意しつつ、自律的に選択、行動できる児童を目指していきたいと考えます。

さて、冒頭で紹介しました「We look to the future now!」は、以前学校だより4月号にも登場しています。これは、南アフリカの「アパルトヘイト」からの解放について、実話に基づきつくられた映画「インビクタス」(クリント・イーストウッド監督)の中で、モーガン・フリーマン演じるネルソン・マンデラが、大統領が黒人に代わり、大きく変化した社会構造や価値観に不安を感じている大統領官邸の白人スタッフ達に伝えた言葉です。マンデラは、「アパルトヘイト」という少数の白人が土地と富、そして政治の実権を握る、合法化された差別的な社会構造から、和解と多数決の社会へ国民を導きました。1994年のことです。そして、南アフリカ共和国は、多様な人種・民族が共存する「虹の国」として歩み出すことになるわけです。マンデラのスピーチ(和訳)は以下の通りです。

→「もちろんやめることはみなさんの自由だ。もしどうしても新政権のもとで働きたくないなら、今直ぐにやめる方がいい。だが、荷造りする原因が言語や肌の色の違いを恐れるせいであったり、前政権の職員だからと思うのなら、そのような恐れはないと言おう。過去は過去、過去は過去なのだ。『われわれは未来をめざす。(We look to the future now!)』皆さんの力が必要だ。協力してほしい。残ってくれる者は祖国に多大なる貢献をすることになるだろう。私が望むのは皆さんが全力を尽くし、まごころを込めて仕事することだ。私もそうしよう。」

Covid-19(新型コロナウイルス感染症)がもたらした大きな社会の変化を考えると、この映画を思い出します。世界的に物事の価値観が大きく変わり、世の中には解決しなくてはならない課題が沢山あることや古い方法ではうまくいかないという事実にも多くの人が気づきました。学校も今までの価値観にとらわれない改革が必要であると考えています。また、人の

直接的な行き来ができなくなった反面、デジタルツールの発達により、世界の距離は近くなりました。今の子供たち全てが世界と関わって行く時代がもう目の前にあります。新しい時代の夜明けだといえます。これからの社会を考えたとき、未来を切り拓く子どもたちを育てる教育の役目はとても重大です。そのためには、教育の主体となる学校、保護者・地域社会、そして、関係機関が手を取り合って連携を深めていくことが今まで以上に必要です。『We look to the future now!』よろしくお願いたします。

## 【新座市立新堀小学校 未来を目指す教育活動】

- 1 「シティズンシップ教育」  
社会参画に必要な知識、技能、価値観や傾向を習得させる。抑制・他律・心情規範の教育  
… 活用・自立・行動規範の教育  
大人の指導>子供の活動 → 大人の介入<子供の自立  
・デジタル・シティズンシップ教育  
※デジタル・シティズンシップ…デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力のこと。  
※デジタル・シティズンシップ教育…優れたデジタル市民になるために、必要な能力を身につけることを目的とした教育。  
・「新堀小のきまり」「スクールモラル」の見直し  
・児童への指導のあり方の改善
- 2 「にいぎ GIGA スクール NEXT」  
・ハイフレックス授業の浸透 (ICT 機器活用)  
・ICT 授業参観の実施  
・「ロイロノート・スクール」「Qubena」の活用  
…授業における学習プロセスの返還  
AI型ドリル教材 → AI型アダプティブラーニング教材
- 3 「DX (デジタルインテリジェンス)」  
インターネット時代における世界共通の身につけておくべきスキル。  
・情報リテラシー  
・情報モラル  
・デジタルスキル
- 4 コミュニティ・スクール新堀小学校  
「しんぼりっこ ぐんぐんプロジェクト」  
新堀小・この地域・この町でしかできない貴重な経験を子供たちに今後の人生に深く置付けていく活動として、授業や行事を捉え、臨んでいく。  
…学校・地域・自国への誇り (自分への自信)  
→日本人としてのアイデンティティの形成  
→グローバル人材の育成